

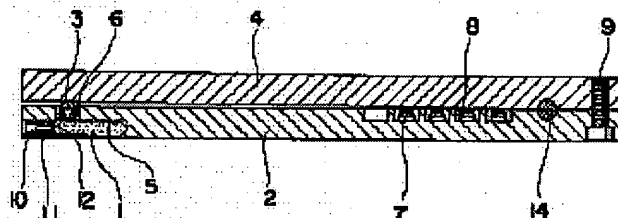
CRIMINAL ARRESTING TOOL

Patent number: JP8124049
Publication date: 1996-05-17
Inventor: MORISHIMA TAKEO
Applicant: MORISHIMA TAKEO
Classification:
- international: G08B15/02
- european:
Application number: JP19940284214 19941024
Priority number(s): JP19940284214 19941024

Report a data error here

Abstract of JP8124049

PURPOSE: To provide a criminal arresting tool which can arrest a criminal on the spot who is intruding into a 24-hour opened convenience store, a financial institution, a prize exchanging place of a game center, etc. **CONSTITUTION:** This tool contains a mark bullet filling rod 2 which contains a powder or pasty mark bullet 1 painted with a coating material, an oil paint, a pigment, a colorant, etc., that can satisfy at least one, two or all of strong stickiness, high conspicuousness and stinkiness or painted with a luminescent coating, a fluorescent paint, etc., that can be seen even in the dark, and a powder exploding rod 4 which explodes the powder 3 charged at a position near the bullet 1 or the rod 2 by the hard blows of a criminal to discharge forward the bullet 1 contained in a front end part of the rod 2. Thus the bullet 1 sticks on clothes, etc., of the criminal.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-124049

(43) 公開日 平成8年(1996)5月17日

(51) Int.Cl.⁶
G 0 8 B 15/02

識別記号 庁内整理番号
9419-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-284214

(22) 出願日 平成6年(1994)10月24日

(71) 出願人 594022493

森島 武夫

千葉県船橋市咲が丘4-6-17

(72) 発明者 森島 武夫

千葉県船橋市咲が丘4-6-17

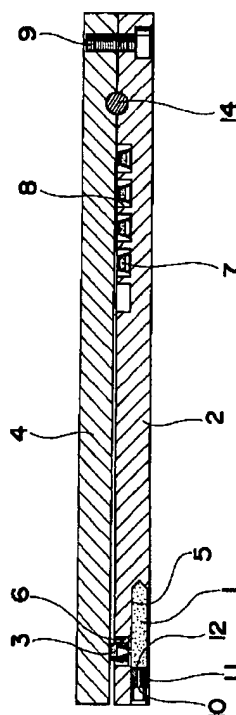
(74) 代理人 弁理士 中村 政美

(54) 【発明の名称】 犯罪者捕捉具

(57) 【要約】

【目的】 24時間営業のコンビニエンスストア、金融機関、遊戯場の景品交換所等に侵入してきた犯罪者をその場で捕捉可能にする。

【構成】 前端部内に、落ちにくく、目立ち易く、臭いのする、これらのすべて又は二つ又は一つを満たす塗料・ペンキ・顔料・着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料・蛍光塗料等の粉体又は練状の目印弾1を充填する目印弾充填棒2と、この目印弾充填棒2の目印弾1近傍に入れた火薬3を犯罪者強叩にて爆発させて前記目印弾充填棒2の前端部内の目印弾1を前方へ発射させて犯罪者の衣服等に付着させる火薬爆発棒4とから構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 前端部内に、落ちにくく、目立ち易く、臭いのする、これらのすべて又は二つ又は一つを満たす塗料・ペンキ・顔料・着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料・蛍光塗料等の粉体又は練状の目印弾を充填する目印弾充填棒と、この目印弾充填棒の目印弾近傍に入れた火薬を犯罪者強叩にて爆発させて前記目印弾充填棒の前端部内の目印弾を前方へ発射させて犯罪者の衣服等に付着させる火薬爆発棒とから構成したことを特徴とする犯罪者捕捉具。

【請求項2】 目印弾充填棒と火薬爆発棒とを並列に重ね合わせて、その後端部を左右方向へ揺動自在に軸支し、この目印弾充填棒の前端部内には目印弾を充填する充填部を前向きに凹設し、且つ前記目印弾充填棒の前端部の前記火薬爆発棒がわ面には、犯罪者を強叩すると爆発する火薬を入れる火薬入れ部を、その中心部が前記充填部に連通されるように凹設し、更に、前記目印弾充填棒の軸支部及び火薬入れ部を除いた前記火薬爆発棒がわ面には予備火薬を入れる数個の予備火薬入れ部を適宜間隔に凹設した請求項1記載の犯罪者捕捉具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、主として24時間営業のコンビニエンスストア、金融機関、遊戯場の景品交換所等に侵入した犯罪者を捕捉するのに好適な犯罪者捕捉具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の犯罪者を捕捉する手段としては、24時間営業のコンビニエンスストア、金融機関、遊戯場の景品交換所等に警報ベルやその他の警報音を発生する警報装置を設置しておいて、侵入した犯罪者を確認した者が、その場で警報装置のスイッチを押して警報ベルやその他の警報音を発生させたり、或いは侵入した犯罪者を、赤外線等を利用したセンサーが感知して警報ベルやその他の警報音を発生させたりして、犯罪者を捕捉するようにしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、赤外線等を利用したセンサーが感知して警報ベルやその他の警報音を発生させる警報装置は、深夜や休日でも無人の金融機関等では極めて便利であるが、例えば、24時間営業しているコンビニエンスストアのレジスターや、遊戯場の景品交換所及び金融機関の受付等では、犯罪者以外の客が多数居るので、前記赤外線等を利用したセンサー式の警報装置は使用できないため、どうしても前記スイッチ式の警報装置しか使用することができず、コンビニエンスストアのレジスターや、遊戯場の景品交換所及び金融機関の受付等に入ってきた多数の客の中から犯罪者を確認することが難しく、その犯罪者が近づいてきて罪を犯した段階で警報装置のスイッチを押すことから、単なる警報

ベルやその他の警報音だけでは、警報装置のスイッチを押した者に対して危害を加える虞があった。しかも、その犯罪者が逃走したときに、人込みに紛れてしまうことが多く、他の人々と見分けがつかず、犯罪者をその場で捕捉することができなかった。

【0004】そこで、本発明は、上述のような課題を解決するために創出されたもので、24時間営業のコンビニエンスストア、金融機関、遊戯場の景品交換所等に侵入してきた犯罪者をその場で捕捉できるような犯罪者捕捉具を提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、前端部内に、落ちにくく、目立ち易く、臭いのする、これらのすべて又は二つ又は一つを満たす塗料・ペンキ・顔料・着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料・蛍光塗料等の粉体又は練状の目印弾を充填する目印弾充填棒と、この目印弾充填棒の目印弾近傍に入れた火薬を犯罪者強叩にて爆発させて前記目印弾充填棒の前端部内の目印弾を前方へ発射させて犯罪者の衣服等に付着させる火薬爆発棒とから構成したものである。

【0006】また、目印弾充填棒と火薬爆発棒とを並列に重ね合わせて、その後端部を左右方向へ揺動自在に軸支し、この目印弾充填棒の前端部内には目印弾を充填する充填部を前向きに凹設し、且つ前記目印弾充填棒の前端部の前記火薬爆発棒がわ面には、犯罪者を強叩すると爆発する火薬を入れる火薬入れ部を、その中心部が前記充填部に連通されるように凹設し、更に、前記目印弾充填棒の軸支部及び火薬入れ部を除いた前記火薬爆発棒がわ面には予備火薬を入れる数個の予備火薬入れ部を適宜間隔に凹設したものである。

【0007】

【作用】本発明に係る犯罪者捕捉具は、上述のような技術的手段により、使用時には、目印弾充填棒前端部内に落ちにくく、目立ち易く、臭いのする、これらのすべて又は二つ又は一つを満たす塗料・ペンキ・顔料・着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料・蛍光塗料等の粉体又は練状の目印弾を充填し、且つ目印弾充填棒の目印弾近傍に火薬を入れ、そして、目印弾充填棒及び火薬爆発棒の後端部を手で持って24時間営業のコンビニエンスストア、金融機関、遊戯場の景品交換所等に侵入した犯罪者を強叩して怯ませながら、目印弾充填棒の目印弾近傍に入れた火薬を爆発させて音で威嚇すると同時に、その犯罪者の衣服等に落ちにくく目立ち易く臭いのする塗料及び着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料及び蛍光塗料等を付着させて、犯罪者が逃走しても極めて容易に見分けがつくようにする。

【0008】また、目印弾充填棒前端部の充填部に落ちにくく、目立ち易く、臭いのする、これらのすべて又は二つ又は一つを満たす塗料・ペンキ・顔料・着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料・蛍光塗料等の粉体又は

3

練状の目印弾を充填し、且つ火薬爆発棒を左右方向へ若干揺動させて目印弾充填棒前端部の火薬爆発棒がわ面の火薬入れ部に火薬を入れておいて、目印弾充填棒及び火薬爆発棒の後端部を手で持って24時間営業のコンビニエンスストア、金融機関、遊戯場の景品交換所等に侵入してきた犯罪者を強叩して犯罪者を怯ませ、且つその犯罪者を強叩したことに伴って、目印弾充填棒前端部の火薬爆発棒がわ面の火薬入れ部に入れられた火薬が爆発して犯罪者を音で威嚇し、更に、その火薬入れ部内の火薬の爆発に伴って、火薬の爆風が火薬入れ部の中心部から充填部内に噴入して充填部内の目印弾が目印弾充填棒の前方へ発射して、犯罪者の衣服等に落ちにくく目立ち易く臭いのする塗料及び着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料及び蛍光塗料等が付着し、犯罪者が逃走しても一層容易に見分けられるようにする。

【0009】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。

【0010】本発明の犯罪者捕捉具は、図1乃至図4に示すように、前端部内に、落ちにくく、目立ち易く、臭いのする、これらのすべて又は二つ又は一つを満たす塗料・ペンキ・顔料・着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料・蛍光塗料等の粉体又は練状の目印弾1を充填する目印弾充填棒2と、この目印弾充填棒2の目印弾1近傍に入れた火薬3を犯罪者強叩にて爆発させて前記目印弾充填棒2の前端部内の目印弾1を前方へ発射させて犯罪者の衣服等に付着させる火薬爆発棒4とから構成したものである。

【0011】即ち、前記目印弾充填棒2と前記火薬爆発棒4とを、前端部側が若干隙間が開くように並列に重ね合わせて、その後端部を支持ネジ9にて左右方向へ揺動自在に支持し、この目印弾充填棒2の前端部内には目印弾1を充填する充填部5を前向きに凹設し、且つ前記目印弾充填棒2の前端部の前記火薬爆発棒4がわ面には、犯罪者を強叩すると爆発する火薬3を入れる火薬入れ部6を、その中心部が前記充填部5に連通されるように凹設し、更に、前記目印弾充填棒2の軸支部及び火薬入れ部6を除いた前記火薬爆発棒4がわ面には予備火薬7を入れる数個の予備火薬入れ部8が適宜間隔に凹設されている。

【0012】また、前記目印弾充填棒2及び前記火薬爆発棒4は、互いに硬質のステンレス製の略四角柱材で、後端部側を手で持ち易くするために、長手方向中央部を前端部側より若干細くして後端部側を前端部側より若干太くなるように夫々成形されている。尚、この目印弾充填棒2及び前記火薬爆発棒4は、操作しやすい程度の長さが望ましく、例えば、一般の警棒の長さのもの、或いは、その他振り回しやすい長さにしておく。図中のものは略20cm程度である。

【0013】それに、前記目印弾充填棒2の充填部5

4

は、前端部の内部に前向きに凹設されていて、この充填部5の前側開口部には、中心部に前記火薬入れ部6内の火薬3の爆発と同時に前方へ発射する発射孔10付き栓11が通常時に零れないように薄膜12を介して前方からレンチ等にて着脱自在に振じ込まれている。

【0014】更に、前記目印弾充填棒2と前記火薬爆発棒4との後端部近傍の対向面には、通常時に目印弾充填棒2及び火薬爆発棒4が左右方向へ揺動して、火薬入れ部6内の火薬3や各予備火薬入れ部8内の予備火薬7が落下しないように止めておくためのネジ孔13を設け、このネジ孔13に真鍮製の止ネジ14が着脱自在に振じ込まれている。

【0015】

【発明の効果】本発明の犯罪者捕捉具は、上述のように、前端部内に、落ちにくく、目立ち易く、臭いのする、これらのすべて又は二つ又は一つを満たす塗料・ペンキ・顔料・着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料・蛍光塗料等の粉体又は練状の目印弾1を充填する目印弾充填棒2と、この目印弾充填棒2の目印弾1近傍に入れた火薬3を犯罪者強叩にて爆発させて前記目印弾充填棒2の前端部内の目印弾1を前方へ発射させて犯罪者の衣服等に付着させる火薬爆発棒4とから構成したから、使用時には、図3及び図4に示すように、目印弾充填棒2の前端部内に落ちにくく、目立ち易く、臭いのする、これらのすべて又は二つ又は一つを満たす塗料・ペンキ・顔料・着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料・蛍光塗料等の粉体又は練状の目印弾1を充填し、且つ目印弾充填棒2の目印弾1近傍に火薬3を入れ、そして、目印弾充填棒2及び火薬爆発棒4の後端部を手で持って24時間営業のコンビニエンスストア、金融機関、遊戯場の景品交換所等に侵入した犯罪者を強叩して怯ませながら、目印弾充填棒2の目印弾1近傍に入れた火薬3を爆発させて音で威嚇すると同時に、その犯罪者の衣服等に落ちにくく目立ち易く臭いのする塗料及び着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料及び蛍光塗料等を付着させることができるため、犯罪者が逃走しても極めて容易に見分けがつき、犯罪者をその場で捕捉することができる。

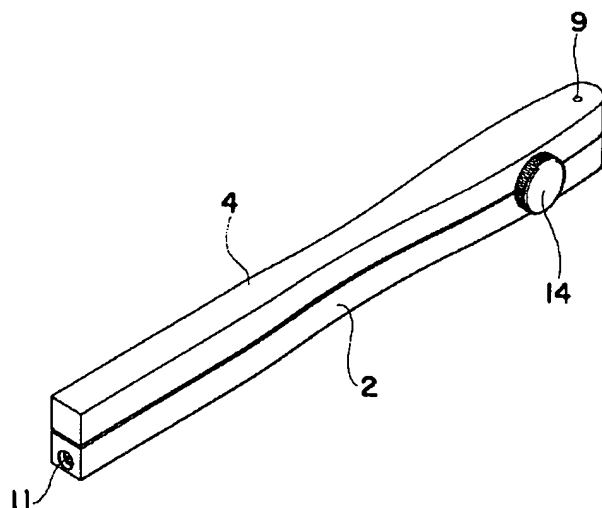
【0016】また、目印弾充填棒2と火薬爆発棒4とを並列に重ね合わせて、その後端部を左右方向へ揺動自在に軸支し、この目印弾充填棒2の前端部内には目印弾1を充填する充填部5を前向きに凹設し、且つ前記目印弾充填棒2の前端部の前記火薬爆発棒4がわ面には、犯罪者を強叩すると爆発する火薬3を入れる火薬入れ部6を、その中心部が前記充填部5に連通されるように凹設し、更に、前記目印弾充填棒2の軸支部及び火薬入れ部6を除いた前記火薬爆発棒4がわ面には予備火薬7を入れる数個の予備火薬入れ部8を適宜間隔に凹設したことにより、使用時には、図3及び図4に示すように、目印弾充填棒2の前端部の充填部5に落ちにくく、目立ち易く、臭いのする、これらのすべて又は二つ又は一つを満

5

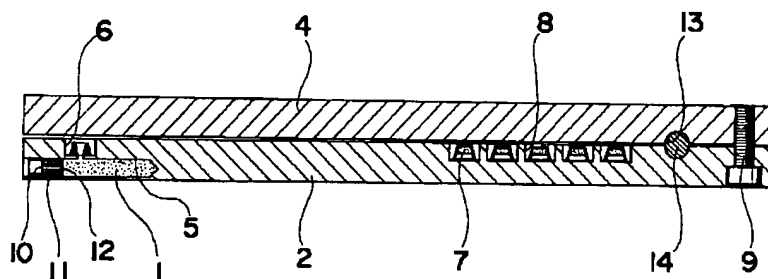
たす塗料・ペンキ・顔料・着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料・蛍光塗料等の粉体又は練状の目印弾1を充填し、且つ火薬爆発棒4を左右方向へ若干揺動させて目印弾充填棒2前端部の火薬爆発棒4がわ面の火薬入れ部6に火薬3を入れておいて、目印弾充填棒2及び火薬爆発棒4の後端部を手で持って24時間営業のコンビニエンスストア、金融機関、遊戯場の景品交換所等に侵入してきた犯罪者を強叩することができるため、犯罪者を怯ませることができることと、犯罪者を強叩したことによって、目印弾充填棒2前端部の火薬爆発棒4がわ面の火薬入れ部6に入られた火薬3が爆発するため、犯罪者を音で威嚇することができることと、火薬入れ部6内の火薬3の爆発に伴って、火薬3の爆風が火薬入れ部6の中心部から充填部5内に噴入して充填部5内の目印弾1が目印弾充填棒2の前方へ発射するため、犯罪者の衣服等に落ちにくく目立ち易く臭いのする塗料及び着色剤や、暗所でも見えるような発光塗料及び蛍光塗料等を付着させて、犯罪者が逃走しても容易に見分けがつくことが相俟って、犯罪者をその場で確実に捕捉することができる。

20

【図1】



【図2】



6

【0017】それに、目印弾充填棒2の軸支部及び火薬入れ部6を除いた火薬爆発棒4がわ面に予備火薬7を入れる数個の予備火薬入れ部8を適宜間隔に凹設したことによって、目印弾充填棒2の火薬入れ部6内への火薬3の補充も、予備火薬入れ部8から予備火薬7を取出して容易にできるのである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す斜視図である。

【図2】図1の縦断側面図である。

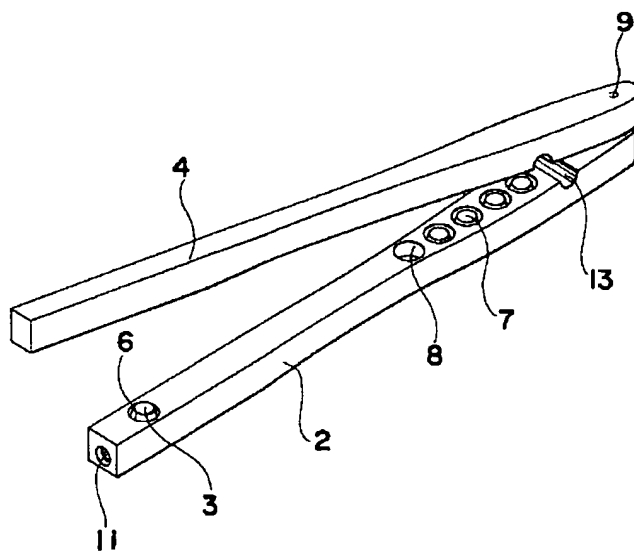
【図3】本発明の使用状態を示す斜視図である。

【図4】図3の縦断側面図である。

【符号の説明】

- | | |
|--------|-----------|
| 1 目印弾 | 2 目印弾充填棒 |
| 3 火薬 | 4 火薬爆発棒 |
| 5 充填部 | 6 火薬入れ部 |
| 7 予備火薬 | 8 予備火薬入れ部 |
| 9 支持ネジ | 10 発射孔 |
| 11 栓 | 12 薄膜 |
| 13 ネジ孔 | 14 止ネジ |

【図3】



【図4】

